

市役所女子職員の悲劇 ～ 部活動取材編 ～

1 スポーツ・文化振興のマチ

私はY県の地方新聞社で記者をしている山田と言います。

今回は、私が住むB市の市役所にあるいくつかの「部活動」を取材した時の様子をお伝えします。

B市は昔から、スポーツ振興・文化振興が盛んな町で、これらに特化した教育大学もあります。そんなこともあり、**市役所の職員も様々な運動部・文化部を組織しており**、社会人の大会などで優秀な成績をおさめることも多いのです。

というわけで、B市役所の強さの秘密を探るため取材を敢行したわけですが、**実際に取材してみると、驚愕の出来事がたくさんありました**。また、新聞にはとても書けないようなこともたくさんあったので、この場でそのいくつかをご紹介しますと思います。

2 強豪女子バレー部

まずは、**女子バレー部**です。こちらは、過去に社会人の全国大会で優勝経験もある強豪ですが、**この数年は少し低迷気味とのことで、若手の育成に力を入れている**と聞いています。練習はかなり厳しいようで、中でも、**精神力を鍛えるための「独特な訓練」がある**とのことなので、それを中心に取材することにしました。

取材当日の19時、練習場所の市営体育館にお邪魔すると、**顧問の神崎氏**が迎えてくれました。神崎氏は、市役所住民課で係長を務めているそうで、学生時代、男子バレーの全国大会で上位に入賞した経験もあるとのこと。そんな実力者の指導がどんなものか、期待に胸が膨らみます。

それでは、当日の様子をレポートします。

「神崎さん、本日はお忙しいところありがとうございます。Y新聞の山田です。」

「どうも、山田さん。今日はよろしくお願いします。しっかり取材してってください！」

「ありがとうございます。早速ですが、ちょうど練習が始まる頃ですか？」

「はい、今日は、**週1回、仕事終わりの19時から2時間程度やっている練習**です。既に部員も集合していますよ、あちらです。」 神崎氏はそう言って、**体育館の壁際を指差**しました。指差された方に目をやると、**スーツ姿の若い女性が10人ほど整列**していました。

「あ、あちらの皆さんが部員さんですか。でも、スーツですけど・・・」

「ああ、仕事終わりでそのまま来てますからねえ。全員役所の職員なんで、しっかりスーツです。まあ、安心してください。**もちろん、これから着替えて練習しますよ。**」

「そうなんです、でも、整列されてるんで、いかにもこれから練習がスタートしますという感じに見えますが、、、着替えてから集合とかではないんですね・・・」

「ええ、『**着替えるところからが練習**』ですから。」

「・・・？ それはどういうことですか、神崎さん？」

「まあ、ゆっくり見ていてください。さあ、**もっとこちらへ近づいて、よく見ててくださいね。**」

神崎氏に促され、部員たちが整列する壁際の近くに行くと、部員たちは一斉に元気よく「お疲れ様です！」と声を掛けてくれました。さすが体育会系、気持ちの良い挨拶です。

よく見ると、**壁際に横一列になって綺麗に整列した若手女子部員10人それぞれの足元には、水色のジャージとカゴのようなものが置いてありました。**

「**それでは、本日の練習を始める！**」 神崎氏が告げました。

「はいっ！ よろしくお願いします！」 と部員たち。

すると、横一列に並んだ女子部員たちは、**なんとその場でスーツを脱ぎ始めました。**

「え、神崎さん、これは？」

「ご覧の通り。着替えからが練習と言ったように、**この場で着替えるところから始めます。**」

「あの、神崎さんも男性ですし、私も男ですし、その前で着替えさせるのですか？」

「ええ、**男性の前で着替えるという『精神力の鍛錬』の一つですよ。**」

問答している間に、**部員たちは全員下着姿になっていました。恥ずかしがる様子もありません。**そして、全員がジャージを身に付け終わると、代表の部員と思われる女性が声を出しました。

「**着替え完了しました！**」

ジャージ姿になった部員が改めて横一列に整列し、カゴには脱いだスーツが収められています。

「よし、練習開始！ 本日はCメニュー！」 「はいっ！」

着替えの衝撃が残る中、部員たちは本格的に練習を始めました。

「いやー、神崎さん、ちょっと驚きましたが・・・」

「まあ、初めて見る方は驚かれますが、**これがうちの伝統**なんです。ただ、練習は淡々と進みますから。もちろん厳しいですけどね。」

(本編へ続く)